

ふくしま尾瀬魅力発信強化（登山道整備ツアー）事業業務委託仕様書(案)

本仕様書は、福島県が行う「ふくしま尾瀬魅力発信強化（登山道整備ツアー）事業業務」を委託するに当たり、必要な事項を定めるものとする。

1 業務名 ふくしま尾瀬魅力発信強化（登山道整備ツアー）事業

2 業務の目的

尾瀬国立公園（以下「同公園」という）は群馬、福島、新潟、栃木の4県にまたがり、本州最大の高層湿原や火山によってできた尾瀬沼、これらを取り囲む燧ヶ岳、会津駒ヶ岳など豊かな自然が織りなす美しい景観や多様な生態系が、訪れた人々を魅了している。

同公園の入山者数は、平成8年の64万8千人をピークに減少しており、令和7年は17万2千人にとどまっている。利用者の減少に伴う担い手不足等により、利用施設等の衰退や山小屋が持つ公益機能の低下が懸念されており、さらに登山道や木道の老朽化、登山道のぬかるみや荒廃などの問題も指摘されている。

本業務では、登山道整備を体験するツアーを開催することで、今後の持続的な環境保全活動の仕組みづくり及び「尾瀬ファン」の獲得を目指す。

3 履行期限

契約締結日から令和8年12月28日（月）

4 履行の場所

福島県側の尾瀬国立公園及びその周辺地域

5 業務概要

- (1) 登山道整備ツアーに係る企画調整及び運営業務
- (2) 募集に関する業務

6 業務内容

- (1) 登山道整備ツアーに係る企画調整及び運営業務

燧ヶ岳見晴新道のぬかるみ箇所等の整備体験を行う2泊3日のツアーを2回実施し、ツアーに係わる一切の業務（企画、調査、調整、作成（印刷）、発送を含む）を行うこと。

ア ツアー参加費

宿泊費、食費、シャトルバス経費、旅行保険料等の個人にかかる経費は参加者の実費負担とし、ツアー参加額を設定すること。（整備にかかる工具や資材（整備箇所周辺の倒木や土石、それらを固定する釘やかすがい、土のう袋などを想定）、ガイド等、参加者全体に係る経費は委託の範囲内とする。）

イ 募集人数 募集人数は1回あたり10名程度とする。

ウ 実施時期

8月～10月

エ 登山道整備について

（ア） 登山道整備手法

自然の成り立ちを考慮した整備とし、指導者として一般社団法人尾瀬登山道整備部^{*}と連携して実施すること。なお、指導者は1名以上とし、事前調査・ツアーに同行させること。

※一般社団法人尾瀬登山道整備部とは

認定ガイドの養成などを行う尾瀬ガイド協会が、登山道や歩道の調査・整備等の実施のため令和6年4月に設立。笠ヶ岳や燧ヶ岳長英新道の整備などの実績あり。令和7年度事業でも指導者として参加。

（イ） 想定作業内容

ぬかるみ箇所解消のための簡易な地ならし、排水措置等とし、1回あたりの作業時間は参加者の安全・負担を考えたものとする。

【参考】○登山道の保全修復工法 一環境省

<https://www.env.go.jp/park/daisetsu/data/files/daisetsu06.pdf>

○ふくしま尾瀬登山道整備ツアーレポート

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/oze/column/column031.html>

（ウ） 具体的な整備箇所・整備方法の検討

整備箇所は見晴新道とする。なお、ツアーで整備を行う箇所について、当日の指導者とともに1回以上事前調査を行い、具体的な整備箇所、整備方法について検討を行い、委託者と協議の上決定すること。決定後、整備に使用する資材（可能な範囲で倒木や石などは整備箇所周辺のものを使用すること）、方法等について記載した整備計画書（様式任意）を提出すること。

オ ツアースケジュール

上記及び以下の事項を含めたツアースケジュールを作成すること。

（ア） 整備作業手順等（尾瀬の魅力や登山道・木道等の尾瀬の現状も含む）にかかるレクチャーを座学で1時間以上実施すること。

- (イ) ツアーには尾瀬ガイド等を1名以上同行させ、行き帰りのガイドを始め、参加者がふくしま尾瀬を楽しめる企画を盛り込むこと。
なお、指導者とは別に手配すること(指導者が2名以上の場合は兼任も可とする)。
- (ウ) 宿泊は檜枝岐村内の宿泊施設とすること。
- (エ) 集合・解散場所は御池駐車場を基本とする。
- (オ) 公共交通を利用する参加者にも配慮したスケジュールとすること。

カ 記念品の作成

整備参加記念品として缶バッジとステッカーを作成し、参加者に配布すること。なお、デザインは令和7年度事業のデザインを踏襲すること。

【参考】缶バッジ、ステッカーデザイン



キ 参加者アンケート

参加者に対し、整備ツアーの満足度や今後の登山道整備等への参加意向等に関するアンケートを実施し、課題等を抽出、整理すること。

ク ツアーのPR

ツアーの記録(写真、動画等)を収集し、原稿等としてまとめ、ふくしま尾瀬のホームページ(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/oze/>)やSNS等でPRを行うこと。

ケ 留意事項

- (ア) ツアー等の参加者の安全・衛生管理等を確実に実施することとし、特に以下の対応について必ず講じること。
 - a 保険への加入
 - b 事故等危機発生時の対応
 - c 天災発生時の対応
 - d 救護者の対応
 - e 熱中症対策
 - f クマ対策(事前の情報収集含む)
 - g その他対策が必要と思われる事項
- (イ) 雨天・荒天時等の状況を踏まえ、ツアー等の催行運営について検

討すること。

(ウ) ツアー等の催行に関しては、土地・施設の所有者、管理者のほか、環境省や町村、観光協会等の関係団体等と十分に調整し、連携すること。また、催行に当たり許認可等の手続きが必要な場合は、委託者と協議の上実施すること。(例：自然公園法、文化財保護法、森林法)

(エ) 参加者間のコミュニケーションを円滑にするため、名札等をあらかじめ準備すること。

(オ) その他

広報ツールや記念品などには交付金事業である旨以下の標示をすること。

「令和８年度福島特定原子力施設地域振興交付金事業」

(2) 募集に関する業務

(1) のツアー開催にあたり、効果的な広報を提案・実施し、参加者の募集を行うこと。なお、募集は一般公募とし、応募多数の場合は応募者の登山歴等を踏まえて委託者と協議の上決定すること。なお、県のホームページ等での告知や、関係機関等への告知協力依頼については委託者が実施する。

7 成果品

事業終了後、以下の成果物等を提出すること。

ア 実績報告書（紙媒体１部及び電子データ）

イ 委託業務に係る全ての成果物の電子データ

ウ ツアー等事業実施状況写真（電子データ）

8 提出書類

受託者は、委託契約書に定めるもののほか、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

(1) 契約締結後に速やかに提出するもの

ア 委託業務着手届（様式第１）

イ 統括責任者通知書（任意様式）

ウ 業務計画書及び実施工程表（任意様式）

エ 収支計画書（任意様式）

オ その他、福島県が業務の確認に必要と認める書類

(2) 業務完了後に速やかに提出するもの

ア 委託業務完了届（様式第２）

イ 収支報告書（任意様式）

ウ その他、福島県が業務の確認に必要と認める書類

9 総括責任者

受託者は、本業務に当たって十分な経験を有する者を総括責任者として定めなければならない。

10 事業実施にあたっての打合せ

受託者は、本業務の期間において、委託者との間で随時打合せを行った上で業務を実施するものとし、その打合せ記録を作成するものとする（様式任意）。

また、委託者は本業務の実施のために必要な協力をする。

11 その他留意事項

（1） 成果品の著作権等の取り扱い

ア 本業務における成果物の所有権や著作権は、原則としてすべて福島県に帰属し、委託者は事前の連絡なく加工及び2次利用できるものとする。また、受注者は本成果品等について、発注者及び発注者が指定する第三者に対して著作権人格権を行使しない。ただし、受託者が従来から権利を有していた受託者固有の知識、技術に関する権利等（以下「権利留保物」という。）については、受託者に留保するものとし、この場合、委託者は権利留保物についての当該権利を非独占的に使用できることとする。

イ 本業務の実施による成果品は、著作権・肖像権上の処理を済ませた上で納入すること。

（2） 個人情報の取り扱い

本業務で個人情報及び特定個人情報を扱う場合は、流失・損失が生じないよう、その保護について十分な注意を払うこと。

（3） 秘密の保持

本業務で取得した情報については、秘密を保持するとともに、契約目的以外には絶対に利用しないこと。

（4） その他

ア 業務の実施に当たっては、業務の内容及び範囲について、委託者と綿密な打ち合わせを行い、その決定に従うこと。

イ 受託者は、受託業務に関する事項について、委託者から報告を求められた場合には速やかに応じること。また、改善が必要な事項につい

ては、直ちにこれに応じ、その結果を報告すること。

ウ 本仕様書に明示無き事項又は業務に疑義が生じた場合は、福島県及び受託者双方の協議により業務を進めるものとする。

エ 但し、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と思われるものについては本業務に含まれるものとする。

様式第 1（仕様書 8（1）関係）

委託業務着手届

令和 年 月 日

福 島 県 知 事

受託者 住所
名称
代表者

令和 年 月 日付で締結した下記委託業務は、令和 年 月 日付で着手しましたので届け出ます。

記

1 業 務 名 業務

2 委託料の額 金 円

（うち消費税及び地方消費税の額 円）

3 委託期間 着 手 令和 年 月 日

履行期限 令和 年 月 日

様式第 2（仕様書 8（2）関係）

委託業務完了届

令和 年 月 日

福 島 県 知 事

受託者 住所
名称
代表者

令和 年 月 日付で締結した下記委託業務は、令和 年 月 日完了しましたので、
届け出ます。

記

1 業 務 名 業務

2 委託料の額 金 円

(うち消費税及び地方消費税の額 円)

3 委託期間 着 手 令和 年 月 日

完 了 令和 年 月 日